



19建水第58号の2
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

飯島町長 高坂宗昭

中期的な計画の作成について(平成19年4月2日付国道企第114号
回答)

このことについて、別紙のとおりです。

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

長野県上伊那郡飯島町
飯島町長 高坂宗昭



道路整備に係る中期計画に関する意見等について（提出）

◎ はじめに

「道づくりは仏の心、神の心に通じ、日本の文化そのものである。」

平成17年1月に当時の国土交通省谷口博昭道路局長（現技監）さんに一般国道153号伊南バイパス建設促進大会を当飯島町において開催し、その折記念講演をお願いしたお話の一節であります。この言葉が今も私の心に強烈に印象深く焼きついております。

お話の内容を詳しく申し上げる紙面の余裕はありませんが、今直轄代行事業により進められております153号伊南バイパスの形が見えて来るにつけ、私はこの言葉の持つ深い意味を味わいながら、生活の基盤づくりと文化を育む源泉としての道路の大切さを思い感謝の念を禁じえません。

「すべての道はローマに続く」の言葉もそうですが、人類の発展の軌跡であり、歴史の証人である道路を私達は大切に守り、後世に伝えていかなければならないとともに、今後とも必要な道路の整備促進を図って頂くことを切に願うものであります。

◎ 今後の道路政策や道路の整備、管理等について

（1）重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

モーターリゼーションの進展と道路網の発展、他の交通機関の発展とも相まって、国内での一日行動圏は飛躍的に拡大しました。

それらのことを総合的に勘案しても、私たちの住む伊那谷北部（とくに上伊那の南部と下伊那の北部地域）地域は東京へ出るのに中央高速自動車道を使っても4時間前後を要し、四国の足摺岬近辺の地域とともに全国の東京までの所要交通時間地図では、ワースト1の位置付であり、現在工事が進められている第2東名道が南アルプスをくり抜いてでも来て欲しかったくらい的心境であります。それだけに、現在進められている153号伊南バイパス、伊那バイパス更には三遠南信道の早期全線開通を大いに期待し、その波及効果は計り知れないものがあります。

全国にはそうした交通事情の地域は、まだまだ多く残っており、住民は一刻も早い道路整備を望んでいると思います。

交通量と費用対効果の問題もありますが、地域の経済格差、国土の均衡ある発展という観点から、もう一度全体を見つめ直し、真に必要な道路は道路特定財源を堅持し、整備を進めるよう中期計画を策定することを望みます。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

真に必要な道路の位置付をこれまでの地域の要望、国策に基づいた産業、経済、少子化を含めた地域格差の検証、等々十分な検討を徹底的に行い、併せて財源確保（道路特定財源）を行った上で、そのバランスをとって中期総合計画を策定すること。

とくに、この検討、議論に当っては、学者議論一辺倒や、既に整備済の地域の人達（都会に多い）の議論に偏ることなく、真に必要としている人達が入った議論と所管官庁の将来を見据えた、又地震等災害対応の視点で公正で冷静な歴史観と国家判断を望みます。

(3) その他、道路政策や、道路の整備、管理全般に関すること

イ 道路は、地域住民、国民全体のかげがえのない共通の財産。自分達の所は整備が終わったのでもう要らないという認識は許されないと思う。

(2) で述べたとおり、長期的視野に立って整備を進めていって頂きたい。

ロ 新規に採択した整備路線については、財政事情等厳しい状況もありますが、できる限り集中投資をして早期に完成させ、目的を果たすことが、地域経済の活性化、道路行政の信頼化につながると思います。少しずつ長期間の道路工事に住民は大変不満を持っています。

ハ 新規道路とは別に、既存の国道、主要地方道、県市町村道がいずれ年数が経過し、大リニューアル時代が到来します。安心安全な道路、橋梁の確保は道路管理者の責務であるとともに、地域住民も共通の財産としての道路を大切に愛護しながら使っていく責務もあると思います。

自動車税やガソリン税を払っているからメンテナンスは国や地方公共団体の仕事—といって横を向いていることはもはや許されない時代です。

私の町でも、アダプトシステムなどの協定により、道路愛護、環境美化、花いっぱい運動など、住民の自主的な取り組みによって、かなりそうした意識も芽生えてきていますが、その一方で道路クリーン作戦などを行いますと、ゴミや空き缶のポイ捨て、行楽帰りの残物の投げ捨てなどの不届き者は後をたたず、おびただしい量があり胸が痛みます。

これからの時代を生きる国民の責務として、その努力義務を明文化した法令整備を考えたいと思います。

一方、道路特定財源に対する国民の認識は、新規に作る道路の財源に充てるのみという印象が強いと思います。

今後のメンテナンスに係る多額の費用も、この財源をストックしていくことが必要と思いますし、そうした PR を国民に行うべきと考えます。

ニ 道路特定財源問題は、今年が最大の山場となると思います。そのためにも国民に認知される中期計画が大切です。精一杯サポートさせていただきますので頑張ってください。

ホ 153号伊南バイパス、大変お世話様になります。よろしく促進方お願い申し上げます。

以上